

令和4年度 仙台市立沖野中学校 学校経営全体構想〔グランドデザイン〕

1 おきの学園教育目標

「自ら拓く 自分の未来」

2 学校教育目標

「心豊かでたくましく、未来に向かって自ら考え行動する生徒の育成」

3 目指す生徒像

「未来に夢を持ち、たくましく生きる、活力のある生徒」

4 目指す教師像

「使命感と情熱に溢れ、生徒と共に歩む、地域等から信頼される教職員」

5 学校経営・教育課程編成の方針

仙台市教育委員会の「令和4年度 杜の都の学校教育」の重点取組事項及び、おきの学園学校運営協議会の方針に基づき、教育目標及び目指す生徒像の実現を目指して、学校経営を行う。

以下の各事項を本年度の重点目標並びに具体的取組として教育課程を編成し、教育活動を行う。

6 本年度の重点目標並びに具体的取組

(1) 自分づくり教育の推進

◎ たくましく生きる力育成プログラムの精選と実践の充実

- ① 最後までやり通す力を育む
- ② 自分のよさを理解できる力（自己肯定感）を育む
- ③ 望ましい人間関係をつくる力（コミュニケーション能力）を育む
- ④ 自分の目標を設定する力を育む
- ⑤ 情報を集め、調べる力を育む

◎ 「働くこと」と「生きること」を題材にした体験活動の充実

- ① 職業講話やマナー教室、地域での職場体験活動を通して望ましい勤労観や職業観を育むとともに、自分の将来のあり方を考える
- ② ファイナンスパークでの学習を通して社会で自立する力を育む

(2) 確かな学力の育成

◎ 分かる授業や個に応じたきめ細やかな指導により魅力ある授業づくりの工夫

- ① 主体的な学習習慣の確立
- ② 基礎・基本の確実な定着を目指した分かる授業の展開
- ③ ICTの効果的な活用の推進
- ④ 少人数指導やTT指導の推進
- ⑤ 個に応じた学習指導の充実
- ⑥ 外部人材の積極的活用

◎ 一人一授業の実践で、研究テーマに迫る手立ての検討

- ① 認め合う学級づくり、授業づくりを進め学級意欲の喚起を図る
- ② 授業の質的な改善を図る

(3) 豊かな心の育成

- ◎ 縦割り活動やボランティア活動の推進
 - ① 自己肯定感や自己有用感を育む
 - ② リーダーの育成
 - ③ オアシス運動，小中合同挨拶運動の推進
 - ④ 地域と連携した防災訓練の実施
- ◎ 他者との関わりや様々な活動を通して健全な心の育成
 - ① 道徳科の授業の充実
 - ② 教育相談の充実，人間関係づくり
 - ③ 命を大切にする心や互いを理解し思いやる心の育成
 - ④ 善悪を判断する規範意識の醸成
- ◎ 学校生活の向上
 - ① 健やかな体の育成
 - ② 危機管理能力の育成
 - ③ 多様性に応じた教育機会の確保
 - ④ 生徒の安全・安心の確保

7 地域とともに歩む基盤

(1) 学びの連携

- ① コミュニティ・スクール及びおきの学園事業の推進
- ② きめ細かな情報発信と協働体制の構築

(2) 協働型学校評価の充実

- ① おきの学園学校運営協議会協働型重点目標
 - 育てよう かかわり合う力(時と場に応じた挨拶とかかわりができる生徒を90%以上に)
 - 育てよう 学びの力(毎日，家庭学習に取り組む生徒を90%以上に)
 - 育てよう 健やかな心と体(毎日，家の手伝いをすることができる生徒を70%以上に)
- ② 三者の具体的改善活動
 - 【学校】
 - ・小中合同挨拶運動，ボランティア活動を推進する。
 - ・挨拶や言葉遣いの重要性，よりよい関係づくりについて，縦割り異年齢集団活動やたくましく生きる力育成プログラムの活用などの実践に取り組む。
 - 【家庭】
 - ・家庭同士や地域での挨拶励行を実践する。
 - ・PTA活動オアシス運動を通して，挨拶の日常化を目指す。
 - ・挨拶や返事，言葉遣いについて，家庭で話題にする。
 - 【地域】
 - ・生徒と気軽に挨拶を交わす。学校と連携した挨拶運動等を実施する。
 - ・地域合同防災訓練などを機会に，交流を深める。

令和4年度 仙台市立沖野中学校グランドデザイン

おきの学園教育目標

自ら拓く自分の未来

目指す生徒像

未来に夢を持ち たくましく生きる 活力のある生徒

目指す教師像

使命感と情熱にあふれ 生徒と共に歩む 地域等から信頼される教職員

協働型学園
重点目標

育てようかかわり合う力

育てよう学びの力

育てよう健やかな心と体

学園重点
具現化方策

○授業交流の充実を図り、実践を重ねる
○たく生きプログラムの精選と実施計画の改善

○授業づくりの交流を図り、「考える力を高める授業づくり」を行う
○家庭学習の習慣化を図り、学ぶ子どもを育てる

○子どもの実態把握と手立ての実践
○保護者や地域を巻き込んだ挨拶運動の展開

仙台市立沖野中学校
教育目標・目指す生徒像

心豊かでたくましく、未来に向かって自ら考え行動する生徒の育成

自分づくり教育の推進
(自己肯定感の育成)

確かな学力の育成
(学力の向上)

豊かな心の育成
(自律心の育成)

重点目標・具現化方策

○たくましく生きる力育成プログラムの実践

- ①最後までやり通す力を育む
- ②自分のよさを理解できる力(自己肯定感)を育む
- ③望ましい人間関係をつくる力(コミュニケーション能力)を育む
- ④自分の目標を設定する力を育む
- ⑤情報を集め、調べる力を育む

○「働くこと」と「生きること」を題材にした体験活動の充実

- ①職業講話やマナー教室、地域での職場体験活動を通して望ましい勤労観や職業観を育むとともに、自分の将来のあり方を考える
- ②ファイナンスパークでの学習を通して社会で自立する力を育む

○分かる授業や個に応じたきめ細やかな指導により魅力ある授業づくりの工夫

- ①主体的な学習習慣の確立
- ②基礎・基本の確実な定着を目指した分かる授業の展開
- ③ICTの効果的な活用の推進
- ④少人数指導やTT指導の推進
- ⑤個に応じた学習指導の充実
- ⑥外部人材の積極的活用

○一人一授業の実践で、研究テーマに迫る手立ての検討

- ①認め合う学級づくり・授業づくりを進め学習意欲の喚起を図る
- ②授業の質的な改善を図る

○縦割り活動やボランティア活動の推進

- ①自己肯定感・自己有用感を育む
- ②リーダーの育成
- ③オアシス運動、小中合同挨拶運動の推進
- ④地域と連携した防災訓練の実施

○他者との関わりや様々な活動を通して健全な心の育成

- ①道徳科の授業の充実
- ②教育相談の充実、人間関係づくり
- ③命を大切にす心や互いを理解し思いやる心の育成
- ④善悪を判断する規範意識の醸成

○学校生活の向上

- ①健やかな体の育成
- ②危機管理能力の育成
- ③多様性に応じた教育機会の確保
- ④生徒の安全・安心の確保

学校運営

「おきの学園」小中の連携 コミュニティ・スクールの活用
協働型学校評価(挨拶・望ましい関わり)
自己肯定感を高めるための家庭と連携した取組

情報化に対する教育の充実
特別支援教育の充実
OJT・研修の充実

いじめ・不登校への共通理解と丁寧な対応
子どもと向き合える体制づくり・働き方改革
仙台版防災教育の推進

組織としての対応・連携の推進

各学年カリキュラムデザイン・校内研究